



とびっくす No.107

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

令和4年度春季ヤマトシジミ資源量調査結果

～漁獲対象サイズの資源は昨年秋季から変化ないものの

漁獲サイズ未満の小型成員が大きく減少～

水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の秋季調査を6月8日・9日・10日に実施しましたので結果を報告します。

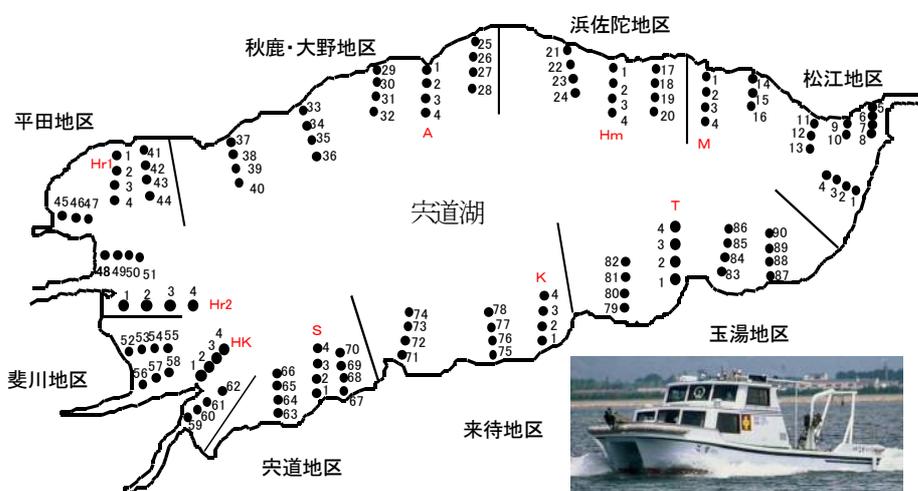


図1 調査地点

試験船「ごず」

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において試験船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1㎡)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和4年春季のヤマトシジミの資源量(表1)は約3万3千4百トン、668億個が生息していると推定されました(昨年秋季は約3万6千3百トン)。昨年秋季の調査結果と比べると、約2,900トン(8%)減少、昨年春季(約3万8千4百トン)からは約5,000トン(13%)の減少(図2)で推移しています。

内訳をみると、漁獲対象となる殻長17mm以上のサイズは、約2万1千9百トン、84億個でした。これは、平成14年に詳細な資源量調査を開始して以降20

表1 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成員	殻長12mm未満	4,727	514
成員	殻長12mm以上17mm未満	6,775	70
	殻長17mm以上(漁獲対象)	21,902	84
	成員合計	28,678	154
全資源量		33,404	668

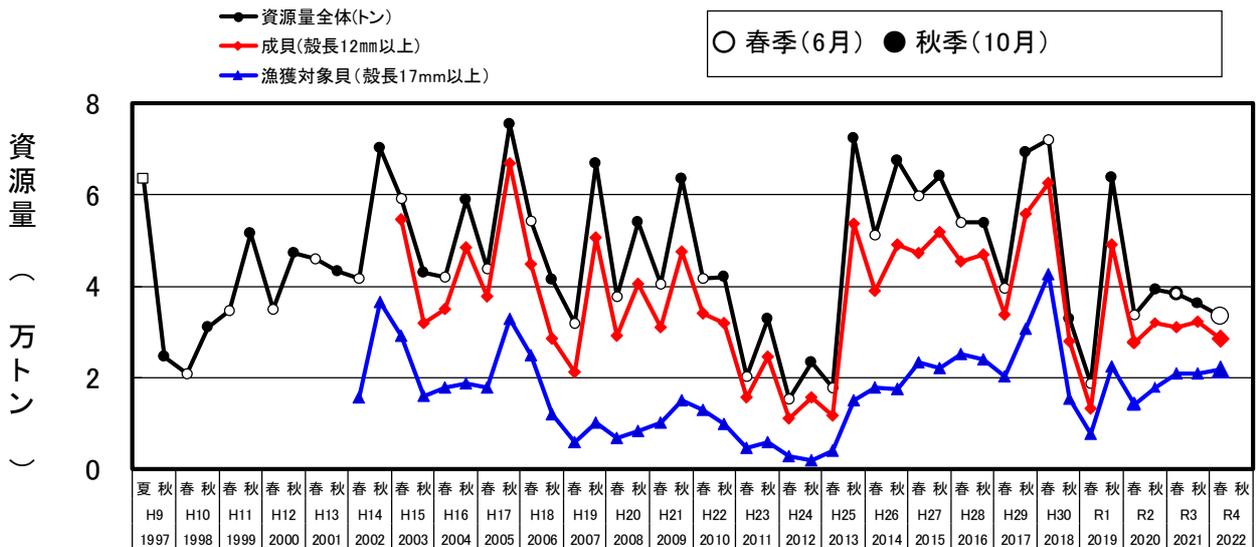


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

年間における春季資源量の平均値(約1万6千2百トン)の135%でした。また昨年秋季(約2万9百トン)と比較すると105%で、例年減少することの多い秋季から春季にかけての変化はほとんど見られません。一方で殻長12mm以上17mm未満の漁獲対象サイズに達していない小型成員については、昨年秋季(約1万1千2百トン)の61%と大きく減っていました。

今後の見通し

今季の資源量は、漁獲対象資源については大きな変化がなく高水準を保っていました。しかしながら、漁獲対象となる直前の殻長12mm以上17mm未満の小型成員については減少傾向がみられます(表1、図3)。この小型成員の減少は、現在のところ高水準を維持している漁獲対象資源が今後先細りになる可能性を示唆するものと考えられます。

引き続き資源動向を注視するとともに、漁獲対象資源の計画的な利用や、未成員資源の保護にむけた生育場の管理に取り組むことが必要と考えられます。

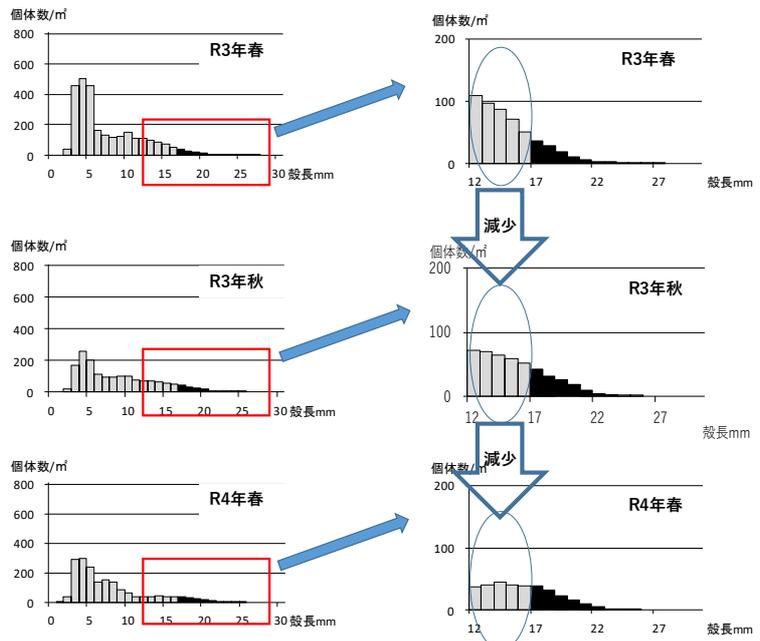


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R3年春季からR4年春季：全調査地点の平均)

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> →
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

